


国際シンポジウム「安全と安心のあいだ」開催のお知らせ

[[Topics](#)] 2014年01月14日

国際シンポジウム「安全と安心のあいだ」

■趣旨

本シンポジウムでは、「なぜ、安全は安心を必ずしも生まないのか」、「どのようにすれば私たちは安心を手にすることができるのか」、「安全のみならず安心までをも保証するためのコストをどこまで引き受けるべきなのか」など、私たちの社会の安全と安心にかかわる問いを、環境倫理学、公共政策、防災学といったさまざまな視点を交え多角的に検討します。

■日時・会場

2014年2月22日（土）13:00～17:00

東北大学百周年記念会館川内萩ホール会議室

※入場無料、事前登録不要、同時通訳有り。

■講演者

加藤尚武（京都大学名誉教授、哲学・倫理学）

安全—安心論の危険度

川崎一郎（京都大学名誉教授、地球物理学）

災害社会：本当に強い社会とは

Sven Ove Hansson（スウェーデン王立工科大学教授、哲学）

“Three tools for safety”

■コメンテーター

野家啓一（東北大学教養教育院総長特命教授、哲学）

■司会

戸島貴代志（東北大学大学院文学研究科教授、倫理学）

■企画

村山達也（東北大学文学研究科准教授、倫理学）

■主催

東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラム

■共催

東北大学文学研究科

なお、シンポジウム終了後に懇談会を開催いたしますのでこちらもふるってご参加ください。

18:00～20:00 川内北キャンパスBee Arena Café

※参加費は飲料代のみ申し受けます。

※参加ご希望の方は事前に申し込みが必要となります。2月12日までに下記E-mailへご連絡ください。

■問い合わせ先

東北大学大学院文学研究科リーディング助教室

TEL・FAX：022-795-6011 E-mail：s-itoh@sal.tohoku.ac.jp（伊藤）

国際シンポジウム



安全と安心のあいだ

2014年2月22日(土) 13:00 ~ 17:00

東北大学川内萩ホール会議室

入場無料・参加自由・同時通訳有

科学技術的な意味での「安全」が確保されたからといって、それが直ちに人々に「安心」をもたらさるわけではない(また他方で、100%の安全が確保されていなくとも、人々に安心をもたらさる—あるいは、もたらしてしまう—こともある)。例えば BSE 問題における全頭検査、福島原発の事故における除染、いわゆる「安全神話」などは、その二つのあいだの差異を浮き彫りにするものであったとすることができる。

なぜ、安全は安心を必ずしも生まないのか。どのようにすれば私たちは安心を手にすることができるのか。安全のみならず安心までをも保証するためのコストをどこまで引き受けるべきなのか。こうした問いを、環境倫理学、公共政策といった観点から検討することが、このシンポの目的である。

講演者

加藤尚武

京都大学名誉教授

川崎一郎

京都大学名誉教授

Sven Ove Hansson

スウェーデン王立工科大学教授

コメンテーター

野家啓一

東北大学総長特命教授

司会

戸島貴代志

東北大学文学研究科教授

シンポジウム終了後の懇談会にもふるってご参加ください。

18:00 ~ 20:00 川内北キャンパス Bee Arena Café

参加費は飲料代のみ申し受けます。

要申込。2月12日までに下記 E-mail へお申込みください。

主催 東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラム

共催 東北大学文学研究科 企画 村山達也 東北大学文学研究科准教授

オフィシャルサイト <http://g-safety.tohoku.ac.jp>

お問い合わせ tel/fax 022-795-6011 E-mail s-itoh@sal.tohoku.ac.jp (伊藤)



G-Safety